

みなさんに支えられて創刊60年

ハイエース オーナーが大注目! 「ひとつ上のカスタム」 2024年版

driver

ドライバー

超激走系。

ベスト・クラウン発見!? 「ランドスケープ」

ステップワゴン危うし…… 新型フリードと兄弟対決

NISSAN AURA NISMO

LEXUS LBX MORIZO RR

人気根強し

日産 バイクカーの「今」

スバル/STIのレジェンド 「辰己英治」から叱咤激励

ハスラーの新種「タフワイルド」徹底検証 洗車で走りがよくなるってホントか!?

9

2024 Sept.

HIACE Commercial Vehicle Custom Style Book 2024

クルマ遊びの楽しさ無限大

HIACE

Commercial Vehicle



Custom Style Book 2024

ハイエース&商用車 カスタムスタイルブック2024

driver

2024年9月号 特別付録

令和6年7月20日発行(毎月1回20日発行) 第61巻 第12号



センターマーク付きで
スポーツ走行にも最適



ハンドルカバーSタイプ
カーボン調レッドロゴ
ブラック 価格:3960円

●レーシーなカーボン調素材のPVCを使い、インパネのドレスアップと質感向上を両立。前輪の切れ角がつかみやすいセンターマーク付き

ミニバンから軽自動車、
商用車まで幅広く対応



ハンドルカバーSタイプ
ブラック 価格:3960円

●快適なシートに合わせてステアリングの感触や握り心地も改善したい。表皮は抗菌仕様のPVCでクリップ感、フィット感に優れる



アウトドアアクティビティにも最適



スリムなデザインなのに
乗り心地もよくて快適!

軽バンなどキャビンがタイトな車種にも装着できるように、ショルダーサポートとシート座面をスリム化し、シート幅を485mmに抑えたコンパクトなコンフォートシート。ニーサポート部分も低くしてスムーズな乗降を実現。

●シート下にあるエンジンルームのメンテナンス性にも考慮し、一部の車種にはエンジンフードが開閉可能なヒンジ付きレールを設定



ERGOSTER エルゴスター

タフレザー仕様も
近日発売!

価格:14万8500~15万9500円(シートヒーターなし)

価格:16万7200~17万8200円(シートヒーター付き)

カラー:グラデーションロゴ、ブラック、チャコールグレー、レッド



ディーゴスリー ライツ クルーズ

DIGO III LIGHT CRUZ

価格:12万9800~14万800円(シートヒーターなし)

価格:14万8500~15万9500円(シートヒーター付き)

カラー:グラデーションロゴBE、ブラックBE、チャコールグレーBE、レッドBE

着座位置の高いキャブオーバーバーの装着を想定し、ニーサポートを低く設定して乗降性を高めている。足抜き性がよく、一見するとフラットな座面だが、着座してみると適度に硬さのあるウレタンと高張力ネットがお尻の形にフィットし、ハムストリングや膝窩(ヒザの裏側)までサポートする。バックレスト全高は860mmとほかのモデルよりも抑えられ、コックピットまわりが狭い車種に取り付けられるようにした。はよりのアゲ系カスタムを施したプロボックスは、オリブグリーン×カモフラージュ柄がアウトドアで映えるユーロゴーストクロスを装着。超ロングセラーのユーロスターIIベースだから、体全体が包み込まれるようなホールド感の高さと、ロングドライブの快適性はお墨付きだ。



ユーロゴースト クロス

EUROGHOST X

価格:15万2900円(シートヒーターなし)

価格:17万1600円(シートヒーター付き)

カラー:オリブグリーン

「これぞスポーツシート」という感じのフォルムに違わず、硬めのウレタンフォームがコーナリングやブレーキで強いGがかかっても全身を包み込むように支えてくれる。表皮は汚れや水滴が浸み込みにくいPVCレザー。

ロングドライブも快適な 運転環境改善シート



シートがチープな商用車だけに、長距離運転も快適な高性能シートに交換したい。モータースポーツを戦うブリッドがリリースするシートに注目だ!

BRIDE

文=湯目由明 text by Yoshiaki Yunome
写真=藤井 修 photo by Osamu Fujii

モータースポーツの知見

乗用車と商用車の差をもっとも感じる部分、シートの座り心地と質感。コスト最優先のためにクッション性がイマイチでホールド感にも乏しく、つねに体が落ち着かない。商用車なら「しょせんこんなもの」と割り切って耐え忍ぶしかない!? が、プライベートと仕事で兼用する職人や個人事業主にしてみたら、運転席の環境改善は体のコンディショニングや仕事の質を左右するために看過できない。

働くクルマの1ボックススカパーやバンは荷室の広さを生かしてキャンピングカーや車中泊仕様のベイス車としても人気だが、ミニバンから乗り替えたユーザーはシートのチープさに驚くはず。商用車のシートにまつわる不満を解消する、多彩なラインアップを展開するのが、モータースポーツで培った知見をシート作りにフィードバックしているブリッドだ。シートの座り心地やホールド感を左右するのが、ファブリックやレザーなどの表皮に包まれたウレタンの密度と形状。ブリッドではエンジンの前席下にあるキャブオーバータイプの1ボックススカパーや軽トラックなど、キャビンがタイトな車種でもドライバーの体型に合わせた最適なドライバーポジションが取れるように、ウレタンの密度を高めながら体圧を支え、お尻や肩まわり、背中を包み込んでコーナリングのGに耐える理想的なフォルムを追求している。軽キャンパーや車中泊仕様のベイス車として人気の高い、軽1ボックスカーのエブリイに装着しているのが、ディーゴIII ライツクルーズ。